

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 膵癌術後成績に及ぼす希釈式自己血輸血の影響の解明

研究の目的

膵癌診療において手術は唯一治癒を望める治療法ですが、膵切除術の手術の侵襲は大きく他家血輸血（赤血球製剤輸血）を必要とすることが度々あります。他家血輸血は免疫抑制的に働き、膵癌患者さんの術後成績に悪影響をおよぼすことが報告されています。そのため、他家血輸血を回避する工夫が望まれます。希釈式自己血輸血は他家血輸血の回避を可能にする方法です。一方で、希釈式自己血輸血が膵癌術後成績に及ぼす影響については一定の結論には至っていません。以上より、膵癌患者における希釈式自己血輸血と術後成績との関連を明らかにすることを本研究の目的とします。

研究実施期間： 2022年7月8日 ～ 2024年3月31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2007年から2020年の間に、当科において膵癌に対して手術をされた方を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

通常診療の範囲内で得られた既存の情報を解析します。新たに検査や治療を追加するものではありません。当院のカルテを利用し、病歴、年齢、性別、血液検査、画像検査、手術関連情報、切除組織の病理所見、術後経過についての情報を、標記研究課題実施のために利用します。希釈式自己血輸血の有無で層別化し、術後成績を比較します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

消化器外科,乳腺外科,甲状腺外科 脇屋太一 電話 0172-39-5079